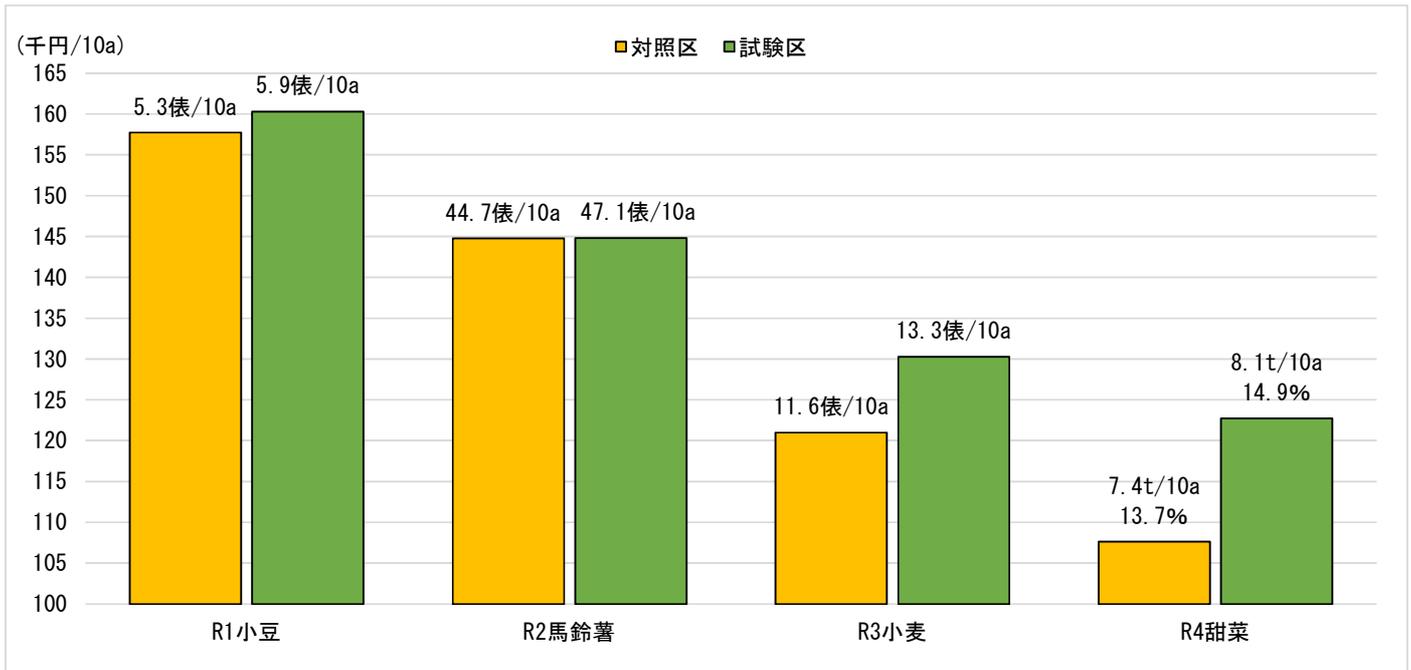


しみず有機施用試験 結果～収入額の比較～

◎しみず有機施用試験結果◎

令和元年度から4年度にかけて北農研芽室拠点にて、しみず有機(180kg/10a)を施用する試験を実施しました。全ての年度において対照区より試験区の方が収量が高いという結果になりました。

この結果を用いて、各年度の平均的な作物単価を用いて収入額を試算し比較すると、4年間で58,677円/10a、しみず有機の品代を差引いて26,997円/10a収入が高いという結果でした。



※ 試験区は「収入－しみず有機代金（助成後金額）」

小豆：試験区は「とれたんと」奨励金を加算

馬鈴薯：本精算の平均単価で試算

小麦：1次概算、2次概算、過年度精算、交付金を合算した金額

てん菜：品代、交付金ともに糖度によって単価修正

◎肥料高騰対策事業について◎

しみず有機は肥料高騰対策事業の助成対象のため、20kgあたり1,650円に対しJAから770円、さらに国から159円（価格上昇率150%の場合）が助成されるので、令和5年5月までは721円で購入いただけます。なお、令和5年3月末日までの購入で町の助成金も対象となります。

参考（肥料高騰対策事業）

	kg/10a	金額	補助後金額	N	P	K	Mg	Ca
しみず有機	100	8,250	3,605	0.6	5.0	3.0	1.5	13.0
苦土重焼燐	20	3,523	2,884	0	8.0	0	0.6	0
重過石	20	3,867	3,165	0	9.0	0	0	1.0

※補助後金額は価格上昇率150%、コスト低減率90%、補助率0.7の場合